



新しい時代を元気にします

Empower for new days

株式会社 明電舎

http://www.meidensha.co.jp

地銀融資に貿易保険

NEXI 海外で参画後押し

ベトナムの水力発電計画

静岡銀行、あおぞら銀行とBNPパリバ銀行の3行がベトナム北西部の水力発電所建設計画に融資する総額71億円の日本貿易保険(NEXI)が貿易保険を付ける。近く正式に契約する。NEXIがアジアへの商機拡大を狙う地方銀行の中長期融資に貿易保険を付けるのは初めて。静岡銀行とあおぞら銀行が海外のインフラ整備融資に参画するのも初という。NEXIはレアアース(希土類)の生産地であるベトナム北西部の電力インフラ整備を通じて現地での日系企業の活動を支援する。



ベトナム北西部で水力発電所建設計画が進められている。完成予想

静岡銀行など3行が融資する水力発電所建設計画は、ベトナム北西部のライチャウ省を流れるムナ川流域に、ベトナム電力公社(EVN)が買取り、首都ハノイを中心に北部の電力系統に送電する。すべてベトナムのフンハイ建設会社が電機26社の水力発電所(ダムを含む)を3基設置する。

電する計画だ。2014年8月の商業運転を目指す。3行の融資は14年に約8割を3行が融資。25日にハノイでフンハイ建設会社と契約した。10年間に一部工事を始めており、3行の融資は14年に完成予定の水力発電所3基の発電ユニット建設などに充てられると見られる。

3行の融資はベトナム政府が100%保証するほか、NEXIが貿易保険を付ける。ベトナムで外貨の交換禁止や送金停止になるなど「非常危険」が起きた場合にNEXIが100%補填する。フンハイ建設が破産したり債務の不履行があったりした場合などの「信用危険」に対してはNEXIが95%を補填する。水力発電所が建設されるライチャウ省は、09年の日本とベトナムの政府間合意に基づき、豊田通商、双日がドンパオ鉱山のレアアース開発に参画したことなどで注目されている。ただ、慢性的な電力不足が問題。あおぞら銀、静岡銀はベトナム北部の電力インフラ整備が日系企業の現地事業拡大だけでなく、日本の地域企業による海外進出支援につながるかと判断して融資に乗り出したようだ。NEXIは地域金融機関との連携を強めており、今後、地方銀行への貿易保険付与にも力を入れる。

ダイエーが「ご用聞き」

高齢者宅を巡回

ダイエーは既存店を拠点に周辺の住宅を回って宅配の注文をとり、「ご用聞き」の事業を推進する。シャパンの1化について検討に入った。ウエブサイトで注文を受け商品をお届けするネットスーパー事業を始める。ネットスーパーの仕組みを応用。ネットスーパーを手がける店舗などに担当者や主婦から注文を受け、高齢者や主婦から注文を受け、移動販売車を巡回させて送り届ける。インターネットを使わずに、インターネットを使わずに、

働き方の多様化に道

勤務したまま

日本の農業従事者の平均年齢は66・1歳と高く、耕作放棄地が増える原因となっている。農水省は2012年度実施を目標に、新規就農者に年150万円を給付する支

働き方の多様化に道

援制度を準備中。ただ農業者で生計を立てられる見通しがはつきりせず、思わぬ事態が出てきた。岩本副大臣は「就農の

業でできる環境を整える方策との整合性だ。農水省

は将来の農業を担う大規模農業家を育てる政策を打ち出した。やる気がある農家に耕作地を集中させて日本の農業の競争力を高めようとしている。週末だけ就農する社員への支援が適切なかが議論になる。農水省

だけの就農者に対し「直を与え、接金を支給しないやり方もある」とし「農業学」の参加を支援する方法がある」と見る。また、社員が週末を利用して農作業を学ぶ機会を提供し、

人も自宅で買い物ができるようにする。ダイエーは「ご用聞き」の事業を推進する。シャパンの1化について検討に入った。ウエブサイトで注文を受け商品をお届けするネットスーパー事業を始める。ネットスーパーの仕組みを応用。ネットスーパーを手がける店舗などに担当者や主婦から注文を受け、高齢者や主婦から注文を受け、移動販売車を巡回させて送り届ける。インターネットを使わずに、インターネットを使わずに、

日刊工業新聞社は26日、東京・飯田橋の本テラグラウンドパレスで本社選定「2011年(第54回)十大新製品賞」の贈賞式を開いた。藤木完治文部科学審議官、中西宏典経済産業省官房審議官らの来賓を迎え、日本の優れた技術力に裏打ちさ

2011年 十大新製品賞 本社選定 富士通・アマダなど表彰



増田賞を受賞した岡本満夫 岡塚道義富士通会長

れた優秀な製品を開発した受賞各社を祝った。(3面に「喜びの声」) 11・13・15・16・19・31面に受賞製品を紹介する「世界に勝つ」) 今回は特に優秀な製品を顕彰する増田賞を2年ぶりに選定。増田賞の富士通、アマダの2件のほか十大新製品賞の本賞10件、高い独創性を評価する日本力(にっぽんぶらんど)賞3件、モノづくりに賞3件、中堅・中小企業賞1件の合計19件を表